

# 「木」を使った具体的な取り組み

～篠栗町小中学校普通教室内装木質化事業～

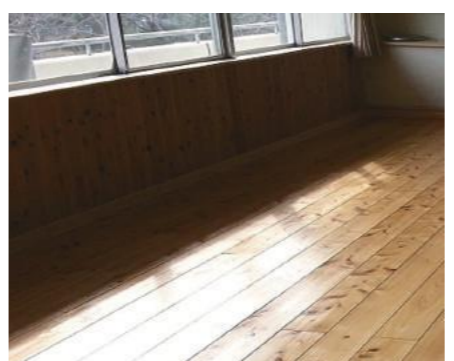
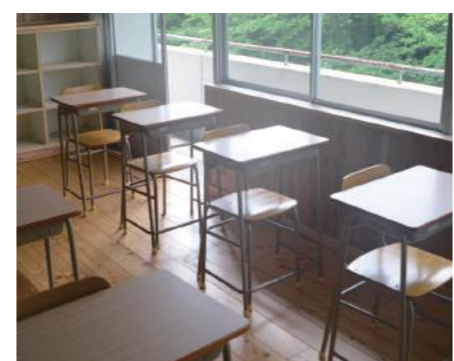


この取り組みの大きな目的は、情緒の安定に効果のあるといわれる木質の温もりの中で篠栗の子どもたちに勉学に励んでいただきたいという思いと、一方で地域産材を有効利用することにより、伐採適齢時期となった篠栗の人工林を山から切り出し、伐採後は広葉樹を植栽し、種々の樹が四季折々の姿を見せるような自然を取り戻すための事業であります。

林野庁の担当官の評価も、「今回のような地域産材をその地域の中で有効に活用するシステムの実現が、国内の類似事業の展開を可能にし国内産材の有効活用推進に資する」となっています。

平成26年篠栗町3月議会  
三浦町長議案説明より抜粋

平成25年12月(冬休中に工事実施)



完成した篠栗北中学校の教室

相談窓口

福岡県広域森林組合

本店

福岡県糟屋郡篠栗町篠栗 4923-4  
TEL : 092-410-1237 / FAX:092-410-1238

福岡西支店

福岡県福岡市西区金武 2127-2  
TEL : 092-811-1805 / FAX : 092-811-5595

福岡北支店

福岡県宮若市福丸 252-2  
TEL : 0949-52-2211 / FAX : 0949-52-2212

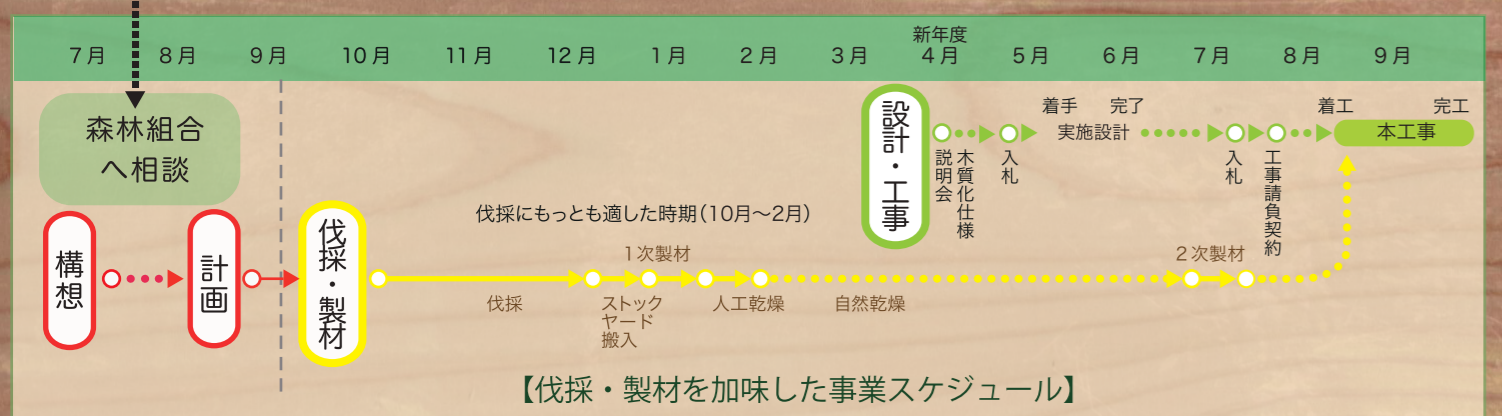
福岡南支店

福岡県筑紫郡那珂川町埋金 835-2  
TEL : 092-952-2022 / FAX : 092-952-2105

嘉飯山支店

福岡県嘉麻市大隈町 1766-4  
TEL : 0948-57-0235 / FAX : 0948-57-4047

※事前にご相談をいただくことで、スムーズに地域木材をご提供できます。

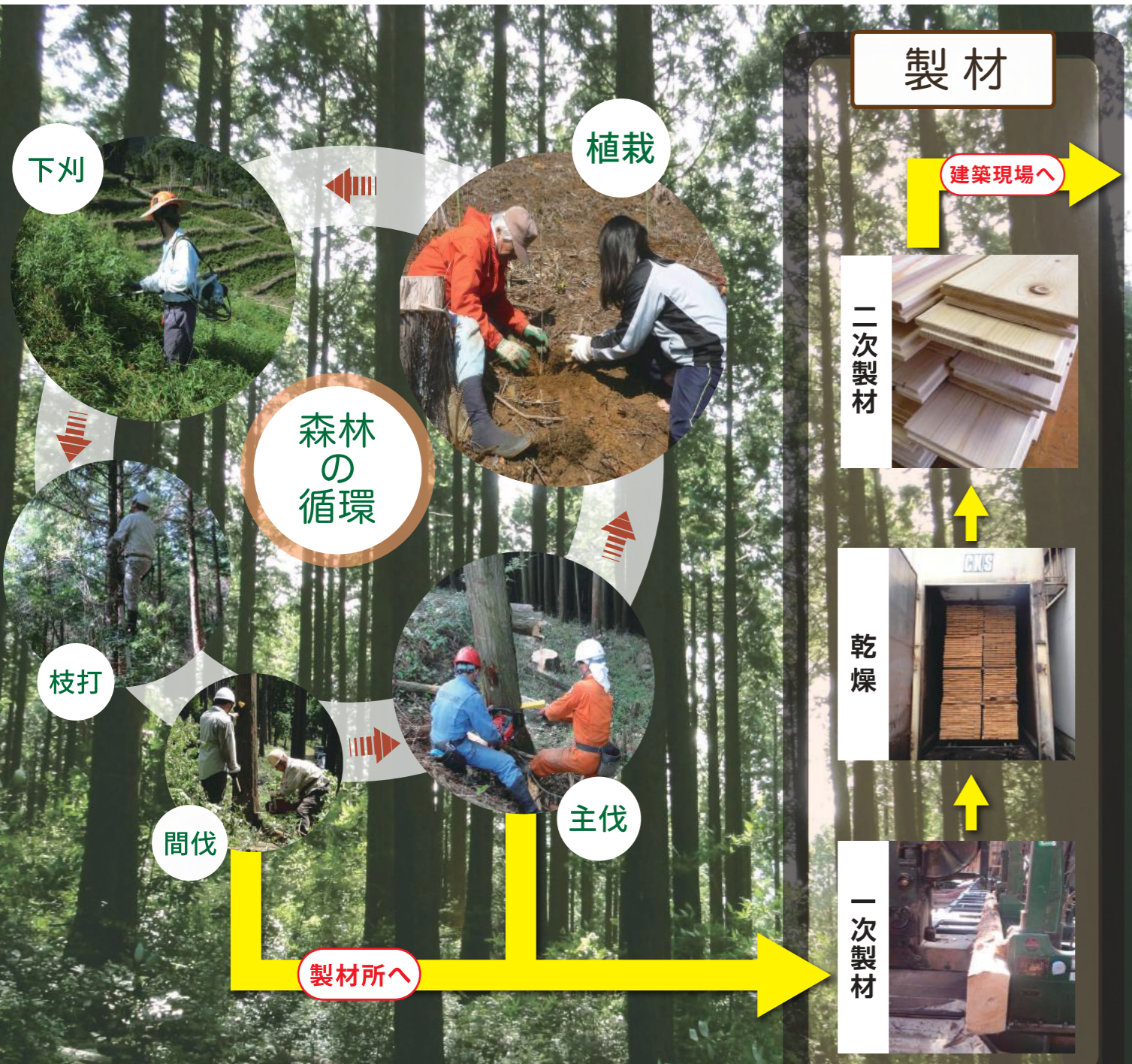


福岡県広域森林組合



写真 / 篠栗町萩尾の町有林

# 「苗木」から「製品」になるまで



## 木材の一生は、とても長いものです。

山に植林されてから材料として収穫されるまでに50年以上の年月を要します。木は、主に建築の材料として使用されますが、その期間は、年輪の数以上と言われています。

一般的に植林から5~7年は、年に1~2回の下刈作業があります。その後、不良木の除伐やツル切作業、林内の込み具合を調整し、光を林内に取り込むための間伐作業や枝打ちがあります。

スギやヒノキの人工林は、こうした保育作業が不可欠です。

また、森林は地球温暖化の原因となっている二酸化炭素(CO2)の大きな吸収源であることは知られています。

木を「植える」→「育てる」→「使う」→「植える」というサイクルを活用することが、森林の持つ多面的機能を発揮させるためにも重要となります。



## 地域の木材を提供します。

公共建築物を木造化しようとする「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が、平成22年の5月に成立しました。これをうけまして、福岡県下の自治体でも独自に同法の趣旨を生かした取り組みが行われています。

しかしながら、どのような場所にどのように木材を使用してよいか分からないとか、設計の仕組みや木材の調達分からないとか多くの悩みがあります。

福岡県広域森林組合では、「篠栗町学校木質化プロジェクトチーム」に参加し、木材の伐採・搬出・製材・加工・納品を経験しました。

そこで、このプロジェクトチームの議論や事業の進め方等について紹介するとともに、「木造化」や「木質化」の推進の一助になればと思い簡単なパンフレットを作成しましたのでご利用ください。

森林組合では、森林の生産サイクル(植え付け~手入れ~伐倒・搬出)の業務が主でしたが、私たちの森林組合は、製材工場を保有していますので、原木の製材・加工ができます。地元産のスギ・ヒノキで「木造化」「木質化」の計画があれば、木材の調達については、ぜひご相談ください。



受け継がれる技



広がる山々



思いを形に



## 私たちの事務所も「木」で生まれ変わりました!!



本店事務所 期間：平成24年12月~平成25年3月 面積：489.64㎡ 設計及び設計監理：(株)アキヤマインダストリー

## 顔の見える原木

福岡県は県土面積の約47%が森林です。福岡県広域森林組合管内のスギ・ヒノキの人工林は、4万haで、どこの市・町に行っても立派な森林となっています。この人工林は、戦後の荒廃した国土の復旧と木材不足を解決する施策として、積極的に造林事業が推進され、多くの森林所有者の努力により成し遂げられたものです。

立派に育てられた人工林を有効に活用するため、森林組合では地元産の材料を使用して木質化を図るため努力しています。

- なお、組合でご協力できる内容は以下の通りです。
- ①設計に伴う必要な材料の検討
  - ②必要な原木の確保のための調査
  - ③原木の伐倒・玉切・搬出・運搬
  - ④製材・加工・納品



ヒノキの人工林



主伐材の枝払・玉切



計画的な施業



高性能林業機械による主伐

## 「木」の住環境アンケート調査の結果

(単位：%)

